

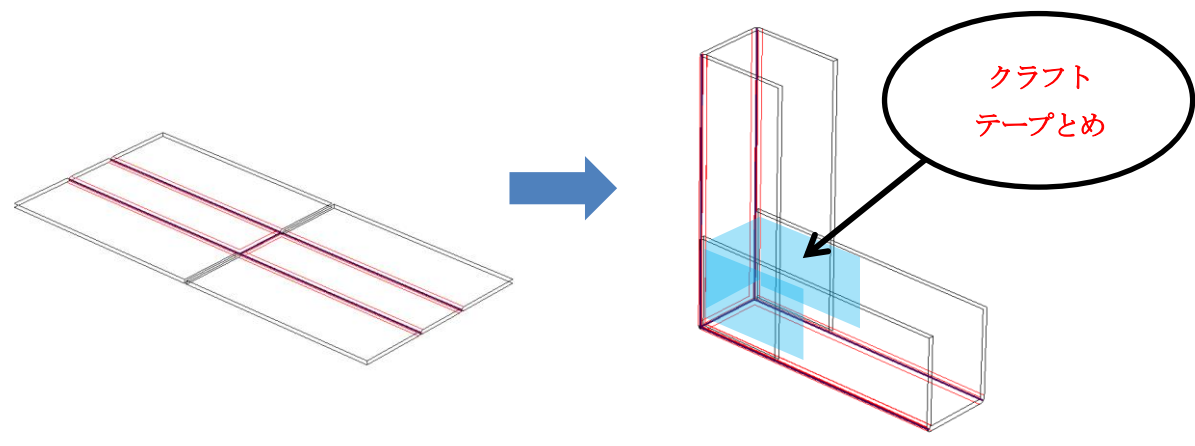
(第56回)

(1) 企業の部		(2) 一般の部		受付 番号	59
ふりがな	だんぼーるせいのこーなーほござい				
作品の名称	段ボール製のコーナー保護材				
ふりがな	じゃばんぱつかぶしきかいしゃ	ふりがな	ながたひろやす		
会社名	ジャパンパック株式会社	発明者名	長田 宏泰		
特許・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号	登録番号	外国特許他	
			第 4969879 号		
特徴と要点 (必ずご記入下さい)					
従来、建材などの大型製品の梱包には、段ボールシートに2本の罫線 (折り曲げ線)					
を入れ、折り曲げる箇所に罫線をほどこし、それらを立ち上げた状態でクラフトテープ					
などで固定し、コーナーを保護する保護材として使用されてきた。					
しかし、梱包の際に大変手間がかかり、建材メーカーでもそのような手順は工程上					
やっている時間がなく、段ボールメーカーが組み立てて納入することもあった。しかし					
それだと場所が必要となり、段ボールメリットである折り畳んで保管するというメリット					
が、発揮できない状態にあった。					
そこで弊社では、従来のコーナー保護材の強度を保ちつつ、折り畳みが可能で省スペース					
化が図れ、建材メーカーの梱包時間も大幅に削減でき、且つ環境にも優しい保護材の開発					
に至った。					
特徴としては、容易に立ち上げる為に、45度で罫線 (折り曲げ線) を施した。					
この部分を接着する事で、使用時に手で広げてやるだけで段ボールが開き、そのまま					
建材製品に嵌め込むだけで梱包ができる画期的な製品である。					
テープ等も一切不要で、省スペース化が図れ、トータルコストで大幅な削減が可能となる。					
今後、大型梱包のスタンダードとなるよう大手住宅・建材メーカーへの拡販を進める。					

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

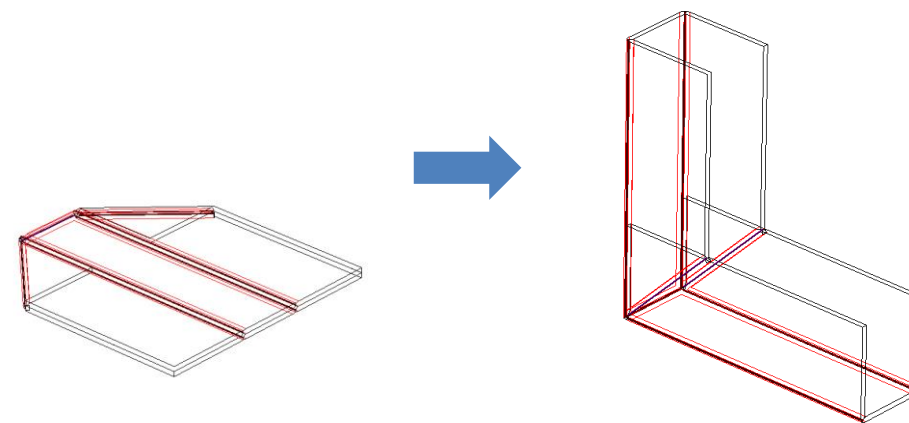
◆従来品は・・・

梱包作業の方が、段ボールシートを折り曲げ、90度に固定した状態にてクラフトテープ等で保護材を固定しなければならず、大変手間が掛かってしまう。



◆当作品は・・・

保護材の一部を45度に折り曲げて接着しており、ユーザー様が使用する際、保護材を開くとすぐに使用できる形状になり、梱包時間の大幅な削減が可能になる。また、テープ等を使用しておらず、見た目も良い。



- ・梱包時間の大幅な削減
- ・テープ等の副資材が不要になり、単一素材で環境にも優しい
- ・省スペース化
- ・素材、梱包時間、副資材材料費を考慮すると、トータルで大幅なコストダウンが可能

記載注意事項

1. 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
2. 従来のも (或いは方法) に比し、どこを (何を) どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面 (略図でよい) でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。